

町内で約 30 年にわたり移動販売や高齢者見守りを行い、9 月末で廃業した安達商事「あいきょう」。その事業を引き継ぎ、合同会社ひまわり（高田昭徳代表社員）が、日野町受託事業「ささえ愛コンビニ・プロジェクト」を開始しました。

「ささえ愛コンビニ・プロジェクト」は、移動販売による買い物サービスと高齢者見守りを組み合わせた買い物福祉サービスです。移動販売に合わせ、町内全域の高齢者宅をきめ細やかに回り、困りごとなどの支援を行います。



▲ 日野町長（右）から移動販売車の鍵を受け取る高田代表（中央）と三石黒坂店店長（左）



日野町公式
キャラクター
しいたんが描かれた
黄色いイラストが
目印です！



▲ 協定書を手にする日野町長（左）、高田代表（中央）、
栃本日野振興センター所長（右）

同事業に関連し、9 月 28 日、合同会社ひまわりと日野町および鳥取県が「中山間集落見守り活動協定」を結び、協定締結式が役場大会議室で行われました。同協定は、見守り活動中に何らかの異常を発見した際に、町へ連絡を行うというものです。

また、10 月 1 日には「ささえ愛コンビニ・プロジェクト事業開始式」が、あいきょう黒坂店前で行われました。長年の功績をたたえ、安達享司社長に感謝状を贈呈。高田昭徳代表社員は、「町民の皆さんに寄り添った活動をしていきたいです」と、決意を新たにしました。式典後、あいきょうの店舗には多くの買い物客が訪れ、新鮮な海産物や野菜などを買い求めていました。

移動販売・高齢者見守りを引き継いで
合同会社ひまわり「ささえ愛コンビニ・プロジェクト」開始

移動販売車

新型車両導入！

同事業の開始に伴い、町では、軽トラック仕様の移動販売車を新たに 2 台購入。これまでの「こまわり号」と合わせた 3 台で、今まで以上にきめ細やかに地域を回り、移動販売と見守り活動を実施します。車内には生鮮食品や生活雑貨まで幅広く取り揃え、町民の皆さんの要望にお応えします。



たき火の炎を眺めながら聞き入る参加者

9月17日、鵜の池公園キャンプ場で星空朗読会（株式会社社スマイルキューブ主催）が開かれました。キャンプ場の利用者を相手に、DARAZ FMのGENSHINさん（米子市）が、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を朗読。参加者は、しっとりとした雰囲気の中、たき火を囲みながら落ち着いた声に聞き入っていました。当日は、あいにくの曇り空で星空は観察できませんでしたが、配布された星座早見盤を見ながら、雲の向こうの星々に思いを馳せる一夜となりました。

ゆったりとした時間を楽しんで
鵜の池公園キャンプ場で星空朗読会



避難者用の段ボールベッドを組み立て

町では、鳥取県西部地震の教訓を生かし、一人一人の防災意識の高揚を図るため、10月2日、全町一斉防災訓練を行いました。

今回は、日野町を震源とする震度6強の地震が発生したと想定。防災無線を使い、町民に玄関先まで避難するよう呼びかけました。

また、町指定避難所の一つである菅福社会体育館で、菅福地区連合自治会との合同避難所開設訓練を実施。段ボールベッドや、簡易間仕切りなどの設置方法など、コロナ禍での避難所運営を想定した訓練となりました。

一人一人の防災意識の向上を
全町一斉防災訓練

根雨駅・黒坂駅 愛称（副駅名称）決定！

町では、JR 伯備線根雨駅・黒坂駅が今年で開業 100 周年（根雨駅－ 7 月 30 日、黒坂駅－ 11 月 10 日）を迎えることを記念し、根雨駅・黒坂駅の愛称（副駅名称）を募集したところ（募集期間：令和 4 年 5 月 9 日～ 6 月 30 日）、全国各地から応募総数計 127 点と多数のご応募をいただきました。ご応募いただいた皆さま、ありがとうございます。

選考委員会で厳正に審査をした結果、次の通り愛称（副駅名称）を決定しました。今後は、新たな観光資源として、JR 利用促進、魅力あるまちづくりにつなげていきます。

根雨駅



愛称（副駅名称）

かもち 金持おしどり駅

黒坂駅



愛称（副駅名称）

かがみやまじょう 鏡山城駅